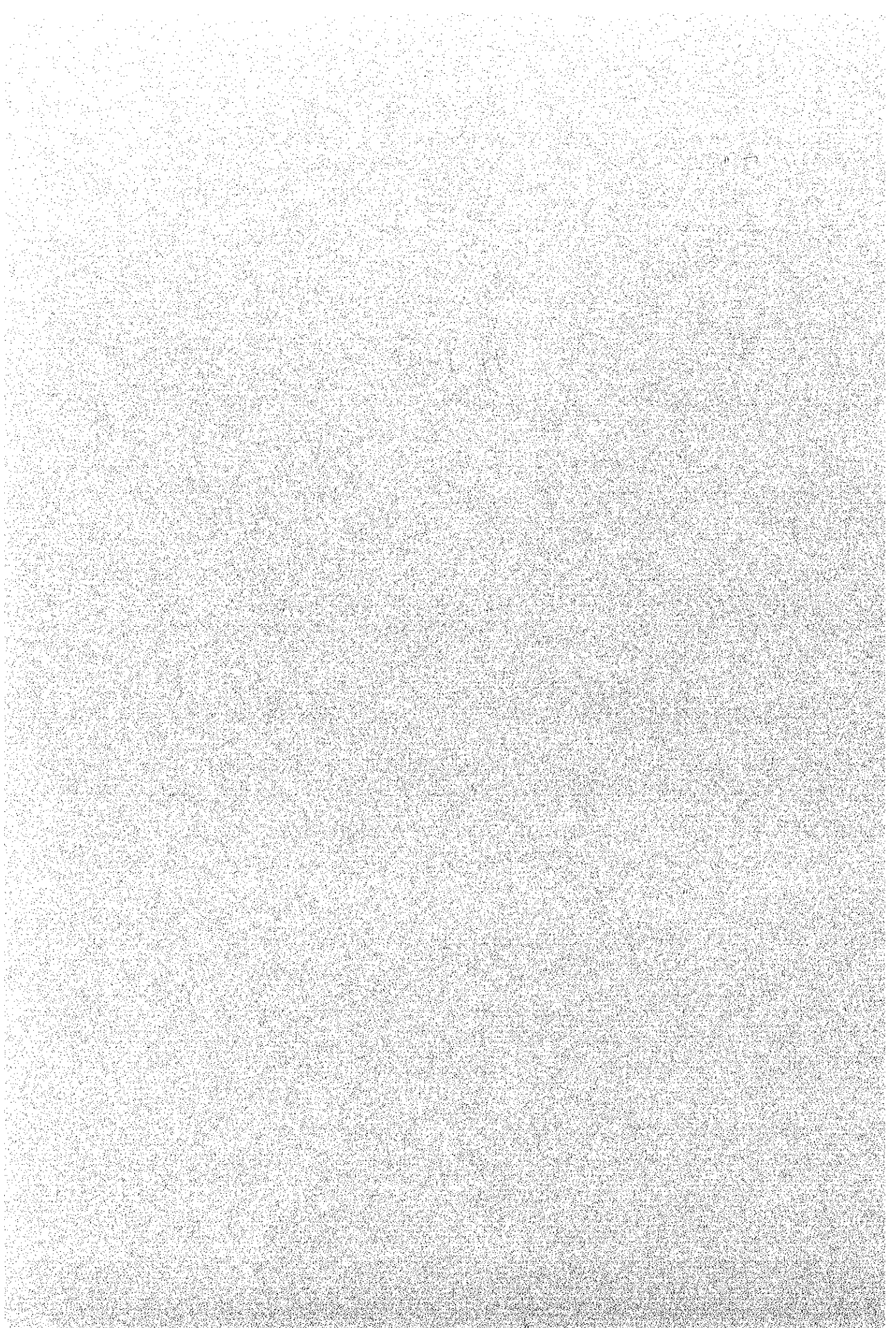


カナダ



海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	モントリオール日本語センター (欧文) Montreal Japanese Language Center					
設立目的	モントリオール日本語センターは今から21年前、ケベック州というカナダの特殊な州（仏語と英語が公用語であるという）で、日系子弟に継承語としての日本語教育を通して子供達のアイデンティティを残したいと切望する父兄の有志によって創立された。					
設立年月日	1976年 9月 1日	法人格取得年月日	1990年 10月 4日			
代表者	職名	校長	任期	97年 9月～ 99年 8月		
	氏名(和文)	大西 美代子				
	// (欧文)	Miyoko Onishi				
役員構成	校長 1名、副校長 1名、会計 1名、父兄代表 1名					
本部所在地	Marymount High School, 5100 Cote St. Luc, Montreal, Quebec, Canada					
連絡先	郵便物宛先	4911 Cote-des-Neiges #802, Montreal, Quebec, H3V 1H7, Canada				
	電話番号	514-342-5824	(団体・個人宅 [大西])			
	FAX番号	514-342-5824	(団体・個人宅 [大西])			
	E-mailアドレス	miyokoonishi@compuserve.com	(団体・個人宅 [大西])			
	会員数	個人会員	60世帯 81名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 80%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		5人(6%)	60人(74%)	人(%)	人(%)	16人(20%)
	法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名：				
会員資格等	会員資格	・日系人 ・地区内居住者				
	会費	年間 大人200 子供170米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨CAD\$1.53)				
	会員の特典	日本語学校授業料割引				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語・英語・仏語					
定期出版物	タイトル	みんなの作文集				
	発行部数	100				
	言語	日本語・英語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	13	4
	総務部		
	経理部		
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
教員会	より効果的に1人1人の生徒に日本語授業を行なえるよう検討する	13
総会	父兄と教員達で学校運営の全般に関する問題解決	65
役員会	学校運営と外部 (カナダ政府、ケベック州政府及び日本政府) との連絡及び交渉	4

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
	借り上げ校舎のため該当なし

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (97年 9月 1日～98年 8月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度繰越金	1,058.17	運営事務費	780.39
授業料	10,023.53	役職員、教師手当	9,962.75
助成金 (JICA)	1,960.78	教員教材購入費	1,556.21
助成金 (国際交流基金)	2,418.30	印刷製本費	392.16
寄付	1,313.73	諸行事費	700.00
その他		校舎賃貸料	3,238.56
(ビデオ貸料)	326.80		
(銀行利息)	100.00	次年度繰越金	1,028.75
(バザー等の収入)	457.51		
合計	17,658.82	合計	17,658.82

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.53 (1998年12月11日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	12,091.50	13,398.69	13,725.49	14,231.37	14,191.50
支出額 (実績)	11,779.08	13,177.12	13,692.81	13,300.65	13,133.33

4. 事業概要

(1) 事業内容

・学校運営 授業は毎週土曜日(10:00-12:00)の2時間で一学期15週間(9月-1月) 二学期15週間(2月-5月)で合計30時間である。
 その他行事として父兄参観、クリスマスパーティ、ひな祭り(お話し)、バザー、運動会等を行う

(2) 重点分野への取組(重要度が高い順に記載)

1) 分野名: 日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本語学校運営 教師謝礼金	校舎のレンタルが高い事 教師の手当は1時間10カナドルと少なく、学校までの交通費が3.70カナドルかかり、良い教師を集められない。	昨年までは1日3時間校舎を借りていたが本年度から2時間半借りさらに会議やお話会の会場は日系文化会館を安く借りる事にした。 ボランティア精神でやって頂いているが、皆それぞれ生活がかかっている。	魅力ある日本語教育を行なえる様にし、生徒数を増やすように努力する。そのためには良い教師が必要である。モントリオールの日系人は2千人足らずと少なくこれは23年前と殆ど変わっていない。であるから日本語・日本文化を学びたがっている成人のクラスを拡大していきたい。

2) 分野名: 教育文化関連

年中行事として 父兄参観 クリスマスパーティ ひな祭り バザー 運動会	・2時間以上の時間延長となるが教師の時間外手当が出せない。 ・男子教師が不足している	ボランティア精神でやって頂いている。 行事の時は父兄の参加を積極的に呼び掛ける。	生徒達にこれらの行事を通して日本文化を学ばせているが、今年度から毎年行われている年の始めの書き初めの他に習字の時間を組み入れる事にした。これは日本語・日本文化を学んでいる成人クラスに大層好評である。
--	---	---	---

3) 分野名: 外部との教育文化関連

日本語教師研修	毎年トロントで行われる研修に本校も2名ずつ送っているが、良い若手教師を必要とする。	本校は生徒の授業料と日本政府の助成金だけがたよるので、教師の待遇改善をしなければならないのであるが、今年こそは問題解決に取り組みたい。	日本語教育の活性化をはかる為には、若手教師の育成をかねてどしどし外部に出していきたい。
---------	---	---	---

(3) その他の重要課題: 教材等(国語の教科書)

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
モントリオールにある補習校は領事館から日本の教科書全部をもらっているが、当校にはくれない。日本人の子供であり、日本語・日本文化を学んでいる生徒達なのにどうしてなのか疑問である。	当校は3歳児-16歳児までの生徒に教科書が必要である。3~5歳までは日本から買ってきてもらった「くものひらがな」、6歳児からはトロントから教科書を取り寄せている。1冊CAD\$14.50と税金・送料がかかる。	現在、トロントから買っている教科書は外国に住んでいる日本の子供の為の教科書であるが、私達は生徒達に日本の文部省の教科書を使ってあげたいと希望している。

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

当校としてはカナダ国以外の日系団体との交流はないが、JICAの毎年度の日本語学校生徒研修参加のお陰で、研修生として日本に行った生徒が、日本で一緒に研修した他国の生徒達と友情が芽生えて、帰国後も連絡を取り合っている。将来の国際交流の掛け橋となってくれることを信じている。

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

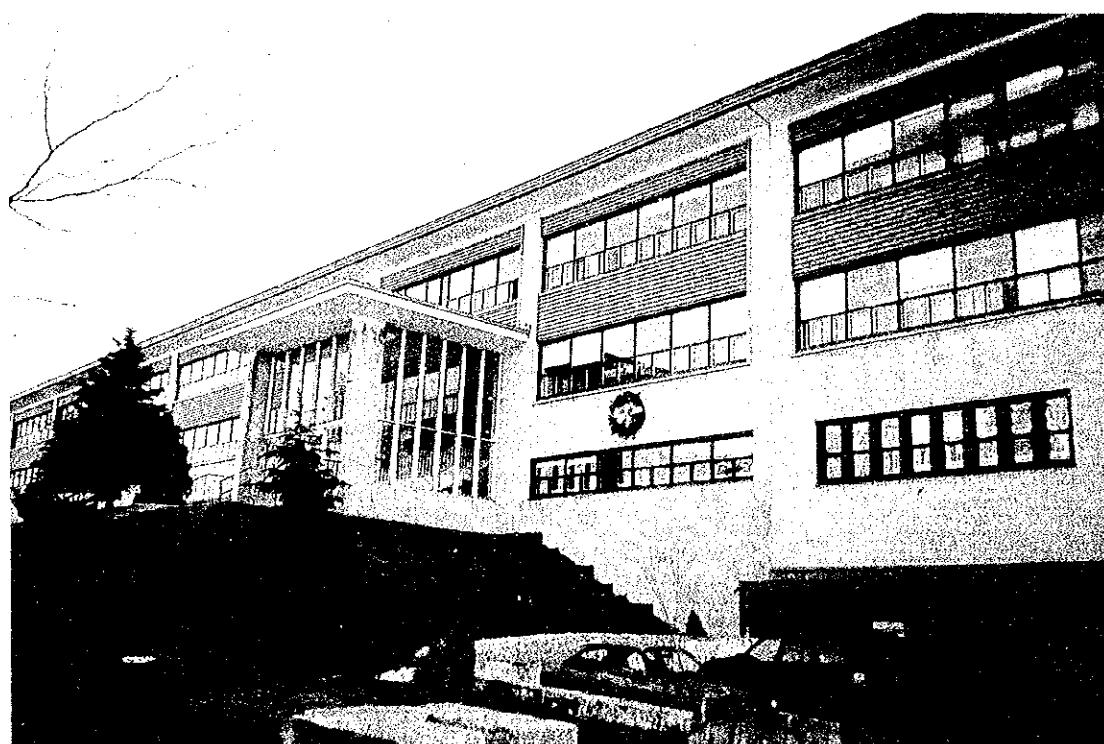
中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	毎年行われる領事館主催のケベック州弁論大会には当校も積極的に参加しており、昨年は賞を獲得した。 1993年にケベック州政府からは助成金を打ち切られた。それ以来現在に至るまで何も頂いていないし、これからもないと思われる。カナダの中のケベック州は政治的な問題、言語的な問題（仏語と英語の二ヶ国語が公用語）等が経済問題にまでおよんでいる。
地域住民・民間団体との関係	モントリオール日系文化会館と当校は常に密接な友好関係を維持しており、月刊誌である「モントリオール・ブルテン」にも当校の先生、生徒達の記事が常に掲載されている。

(3) JICAへの要望・期待

当校で日本語を学んでいる子供達は、将来日本とカナダの架け橋となる次の世代を担う重要な人材と認識している。尚、ケベック州においては、当校はこれらの子供達に対する唯一の日本語を学ぶ機関であり、日本文化を学習する場としてこれまで多くの子供達の教育に携わってきた。又、現在日本語・日本文化に興味を有する得難い成人達が将来の国際親善の架け橋となってくれることを信じつつ、私達教師一同全力を尽くして、精一杯当校の存続、発展の為に努力していく所存である。当校の窮状と存続の重要性を是非ともご理解頂きたい。



モントリオール日本語センター借り上げ校舎 (Mary mount High School)



モントリオール日本語センター借り上げ校舎 (Mary mount High School)

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	トロント国語教室日本語学校理事会				
	(欧文) Toronto Kokugo Kyoshitsu				
設立目的	トロント近辺に住む移住者の子弟に、正しい日本語を教えるとともに、日本文化の継承を行う。				
設立年月日	1976年 9月 1日	法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職名	理事長	任期	94年 9月～99年 6月	
	氏名(和文)	小野 恵子			
	// (欧文)	Keiko Ono			
役員構成	理事長 1名、理事 6名、書記 1名、会計 1名、会計監査 2名、校長 1名				
本部所在地	c/o Bowmore Rd. Public School, 80 Bowmore Rd., Toronto, Ontario, Canada				
連絡先	郵便物宛先	34 HumberSide Ave., Toronto, Ontario, M6P 1J7, Canada			
	電話番号	416-763-1056	(団体 (個人宅) 小野)		
	FAX番号	416-763-3991	(団体 (個人宅) 小野)		
	E-mailアドレス	kono@idirect.com	(団体 (個人宅) 小野)		
会員数	個人会員	82世帯 124名 地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 0.6%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		人()%	97人(78%)	6人(5%)	8人(6%)
法人、団体会員	法人(団体) 主な法人(団体)名:				
会員資格等	会員資格	・地域内居住者			
	会費	年間 210米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨CAD1.33)			
	会員の特典				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)				
	日本語のみ				
定期出版物	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)				
	日本語のみ				
定期出版物	タイトル	楓っ子			
	発行部数	200			
	言語	日本語			
	価格(有料の場合)				

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校理事会		
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校(トロント国語教室)	17	

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
日本語学校	土曜日のみ 現地の小学校教室を使わせてもらっている。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (98年 1月 1日～98年 12月 31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
学費	18,000.00	教職員謝礼	18,000.00
JICA助成金	2,250.00	教材購入	562.50
		運営事務費	337.50
		学校諸行事費用	525.00
		日本姉妹校交流費用	900.00
		コピー使用代	450.00
合計	20,250.00	合計	20,775.00

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.33 (99年 1月 1日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	23,950.00	24,963.00	21,000.00	22,000.00	20,250.00
支出額(実績)	23,950.00	24,963.00	21,000.00	22,000.00	21,900.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・学校運営

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育・日本文化

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校の運営 日本語教師謝金の支給 日本語教師研修会の開催 保護者の教育 	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の移住減少による生徒の減少により、収入源が拡大できない。 教師の数は減らせないので、将来は大幅な赤字の可能性はある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語を話さないが興味がある子供にも教えられるよう、英語での指導も考慮中。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく日本語、日本文化が学べるよう工夫する。 保護者を教育して家庭での日本語使用を増加させる。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

北海道の雨竜郡にある小学校と往来している。

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	市の教育省と協力して、市内に住む日本語に興味のある子弟に無料で日本語を教えている。その代償に教室、体育館などを使用させてもらっている。
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

特になし

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	バーナビー日本語学校 (欧文) Burnaby Japanese Language School				
設立目的	日本語を通じて、日本及び日本文化に対する関心を深める。 日本、カナダ両国民の相互理解、文化交流に貢献し得る人材育成。				
設立年月日	1983年 9月 日	法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職名	会長	任期	年 月～ 年 月	
	氏名(和文)	由実 サンダーソン			
	// (欧文)	Yumi Sanderson			
役員構成	会長 1名、副会長 1名、理事 5名、会計 2名、書記 2名				
本部所在地	事務所：1470 Sharrock Ave., Burnby, BC, Canada				
連絡先	郵便物宛先	Emiko Hiruta 1505 Austin Ave., Coquitlam, BC, V3K 3P8, Canada			
	電話番号	604-931-6291	(団体・個人宅)		
	FAX番号	604-931-6291	(団体・個人宅)		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅)			
会員数	個人会員	65世帯 102名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約____%			
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降
		0人(0%)	62人(61%)	0人(____%)	0人(____%)
法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名：				
会員資格等	会員資格	・日本語学習を希望する人 ・ ・ ・			
	会費	年間 210 米ドル相当額 (換算レート：US\$1=現地通貨CAD1.43)			
	会員の特典				
使用言語	総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)	日本語			
	団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)	日本語・英語			
定期出版物	タイトル	News Letter			
	発行部数	102			
	言語	日本語・英語			
	価格(有料の場合)				

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
		父兄の代表者がボランティアで役員として運営	
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
ロックディール校	月～木 16:00～18:00 日本語授業
アルファ校	毎週土 9:30～14:00 日本語授業
事務所	教材保管、学習資料作成、役員会、教師間の会合

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (97年 9月 1日～98年 6月 30日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
授業料	18,600.00	教師手当	13,071.10
助成金 (JICA)	900.00	副教材、コピー代金	1,892.80
助成金	700.00	広告	367.50
寄付金	420.00	諸行事、卒業式 (他)	1,916.60
前年度繰越金	2,800.00	研修費	140.00
		賃借費	616.70
		交通費	542.30
		銀行手数料	35.40
		その他	910.00
		次年度繰越金	3,927.60
合計	23,420.00	合計	23,420.00

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.43 (98年12月19日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993～1994	1994～1995	1995～1996	1996～1997	1997～1998
予算額	16,200.00	16,800.00	13,657.00	18,403.00	23,420.00
支出額 (実績)	14,117.20	16,274.22	13,657.00	17,346.55	19,492.40

4. 事業概要

(1) 事業内容

・幼稚園～中学3年まで日本語教育 ※光村教科書使用

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本語学校運営 日本語教師謝金の支給	日本語教師の待遇改善。 若手教師、新採用につき検討要。	父母の代表者がボランティアとして一切の運営に携わっている。当校は非営利団体として運営。教師待遇の改善についてはバザー、寄付等にて収入を得て教師の謝金等に還元。	カナダ社会で生活する日系人の子供達に、日本語教育の大切さを教えつつ、子供達が楽しく興味を持って勉強を続けていく環境作りに尽力していく。

2) 分野名：学校行事

年中行事 9月 入学式 7月 サマースクール* 12月 学習発表会 8月 サマースクール* クリスマスパーティ *各月2週間ずつ 3月 漢字ソン 5月 大運動会 6月 卒業式 学習発表会		
--	--	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

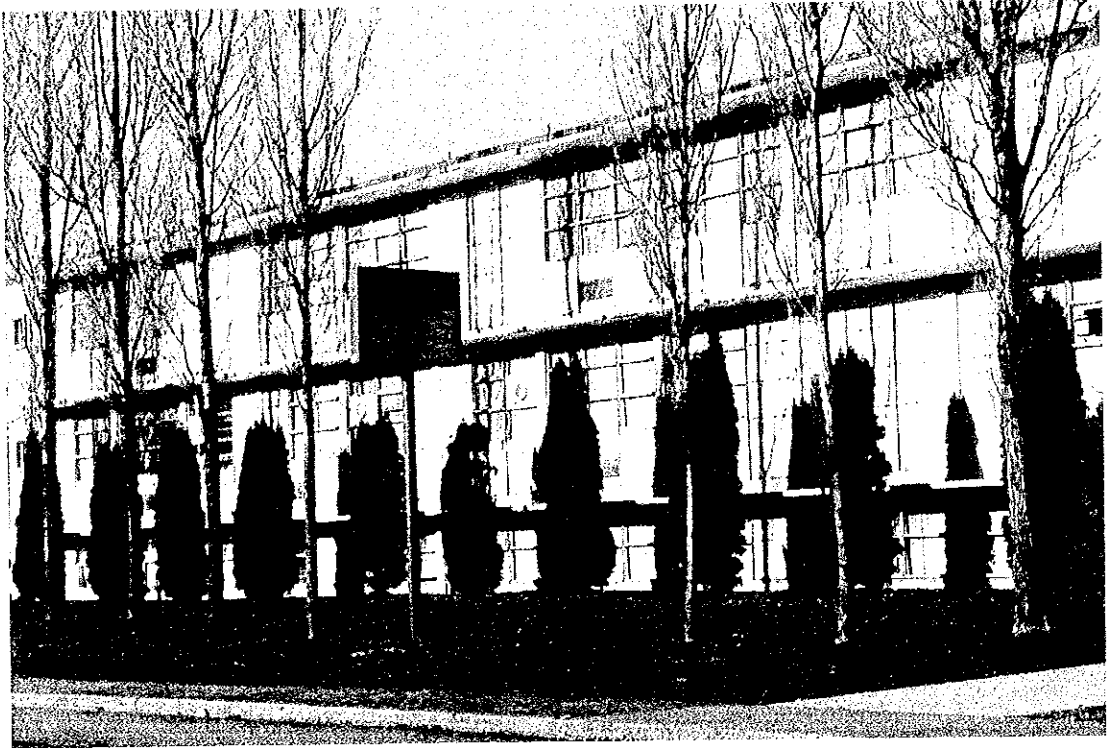
なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

特になし



Alpha 校舎



Lochdale 校

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	フレーザーバレー日本語学校					
	(欧文)	Freser Valley Japanese Language School				
設立目的	日本語とその文化の地域社会への普及。					
設立年月日	1985年 9月 10日	法人格取得年月日	年 月 日			
代表者	職名	校長	任期	85年 9月～ 年 月		
	氏名(和文)	間庭 文子				
	// (欧文)	Fumiko Maniwa				
役員構成	校長 1名、日本語担当書記 1名、英語担当書記 1名、会計 1名					
本部所在地	28941 Haverman Rd., Abbotsford, BC, Canada (フレーザーバレー仏教会)					
連絡先	郵便物宛先	8929 Mackie St., Fort Langley, BC, V1M 2R7, Canada				
	電話番号	604-888-3029	(団体・個人宅[間庭])			
	FAX番号	604-888-1061	(団体・個人宅[間庭])			
	E-mailアドレス	emaniwa@msn.com	(団体・個人宅[間庭])			
会員数	個人会員	11世帯 12名		地域内日系家庭全体に対する加入率：約 ____%		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(____%)	4人(____%)	1人(____%)	____人(____%)	7人(____%)
法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	・地域内居住者				
	会費	年間 175 米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.54)				
	会員の特典	なし				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語と英語					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	2	0

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998年度収支計算書 (98年 1月 1日～ 98年 12月 31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
1.前期繰越金	-839.74	1.日本語教師謝金	1,083.59
2.会費収入	1,472.38	2.JALTA年会費	26.00
3.その他収入 (BC州政府より教材援助金)	325.00	3.教材等文具費	50.56
4.JICA助成金	455.00	4.次期繰越金	252.49
合計	1,412.64	合計	1,412.64

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.54 (98年 12月 10日現在)

(2) 過去5年の財政状況 (US\$)

年度	1994	1995	1996	1997	1998
予算額	3,500.00	3,700.00	3,000.00	2,000.00	1,500.00
支出額 (実績)	3,331.93	3,694.76	2,716.61	2,433.24	1,160.15

4. 事業概要

(1) 事業内容

日本語教育

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
日本語学校の運営 日本語教師謝金の支給 日本語教師研究会への参加 日本語研修員の募集・選考	日本語教育の維持継続 教師不足 日本語教師の待遇改善	地域に働きかけている 小都市なので不可能に近い 財政的にかなり困難	公立学校へ依頼していく

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

合同研修

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	なし
地方自治体との関係	BC州政府から教材援助金を給付されている。
地域住民・民間団体との関係	当校の生徒の大半は地域の非日系人である。

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	ビクトリアヘリテージ日本語学校維持会 (欧文) Victoria Japanese Heritage Language School Society					
設立目的	ビクトリアヘリテージ日本語学校を運営し、資金援助を行なう。又、学校の高度レベル維持に努める。					
設立年月日	1989年 9月 1日	法人格取得年月日	1989年 8月 30日			
代表者	職名	会長	任期	96年 9月～99年 8月		
	氏名(和文)	バーバー ブライアン				
	// (欧文)	Brian Barber				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、書記 1名、会計 1名					
本部所在地	なし(但し、日本語学校の授業は、Camosun College, 3100 Floul Bay, Victoria, B.C., Canada の教室を借りて行なっている)					
連絡先	郵便物宛先	1883 Taylor St. Victoria, BC, V8R 3G3, Canada				
	電話番号	250-595-4779	(団体 (個人宅)ブライアン)			
	FAX番号	250-595-4779	(団体 (個人宅)ブライアン)			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	18世帯 24名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 24%		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		15人(83%)	___人(___%)	___人(___%)	___人(___%)	3人(17%)
法人、団体会員	___法人(団体) 主な法人(団体)名:					
会員資格等	会員資格	・日系人又は、日本語に興味のある地域内居住者				
	会費	年間 10米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨C\$ 1.50)				
	会員の特典	会員の子弟は、ビクトリアヘリテージ日本語学校にて日本語を学ぶ事ができる				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語、英語の両方(英語の方が主)					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語、英語の両方の場合と、英語のみの場合とがある					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	4*	1*
*毎年生徒の数によって変更あり			

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 9月 1日~98年 8月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	1,992.65	教師謝金	4,892.00
会員費	230.00	礼金	416.67
授業料	5,699.00	研修費	108.00
補助金 (BC州政府)	666.67	教材	327.45
助成金 (JICA)	733.33	教室賃借料	340.00
銀行利息	11.59	特別行事費	244.15
資金調達/寄付	257.75	運営費	62.52
本代	16.00	広告費	155.99
		保険料	80.00
		備品	160.49
		雑費	43.20
		次期繰越金	2,776.52
合計	9,606.99	合計	9,606.99

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.50 (99年 1月 4日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993-1994	1994-1995	1995-1996	1996-1997	1997-1998
予算額	6,922.29	6,066.57	6,462.11	6,559.59	9,606.99
支出額 (実績)	5,749.39	5,556.76	5,848.48	6,661.89	6,830.47

4. 事業概要

(1) 事業内容

・学校運営

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語学校運営

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> 日本語学校の運営 日本語教師謝金の支給 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の数が少ないため細かいクラス分けが出来ない。 資格のある教師の人材不足。 備品を一年中置いておく事が出来ない。 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムをもう一度見直し、レベルの位置付けを明確にする。 日本語教師の人材育成計画中。 	<ul style="list-style-type: none"> 公立高校で日本語を第2外国語として選択できるようになったので、我が校でも履修単位がもらえるようにしたい。 日本語振興会（バンクーバー）主催の研修会に積極的に出席してもらう 年間を通してリースできるような場所を捜したい。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	BC州から毎年補助金を頂いている。
地域住民・民間団体との関係	<ul style="list-style-type: none"> 開校当初は、日系人のみが対象であったが、その後、非日系人住民にも日本語に興味のある者に対しては、窓口を開いている。 年に一度、ビクトリアヘリテイジ協会のミーティングに参加し、他の国々の方達とも交流をはかり、情報などを交換している。

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	レスブリッジ日本語学校					
	(欧文) Lethbridge Japanese Heritage Language School					
設立目的	日本語教育を通して日本の文化を広く知らしめ、日本とカナダの懸け橋となるような社会人を養成する					
設立年月日	1964年 9月 日	法人格取得年月日		1990年 10月 9日		
代表者	職名	校長		任期	96年 1月～ 年 月	
	氏名(和文)	河井 ちよ子				
	// (欧文)	Chiyoko Kawai				
役員構成	事務局 1名、会計 1名、会計監査 1名、日本語学校校長 1名					
本部所在地	Yoshio Kawai P.O. Box11, Diamond City, Alberta, T0K 0T0, Canada					
連絡先	郵便物宛先	P.O. Box 11, Diamond City, Alberta, T0K 0T0, Canada				
	電話番号	403-381-3901	(団体 (個人宅) 河井)			
	FAX番号	403-381-3901	(団体 (個人宅) 河井)			
	E-mailアドレス	ykawai@telusplanet.net	(団体 (個人宅) 河井)			
会員数	個人会員	10世帯 18名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(____ %)	10人(56%)	人(____ %)	4人(22%)	4人(22%)
法人、団体会員						
会員資格等	会員資格	・日系人 5才以上18才まで ・地域内居住者				
	会費	年間65～130米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨CAD1.53)				
	会員の特典	兄弟の授業料割引				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等) 現地語(英語)、日本語の両方					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校	4	1

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日～98年 3月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
1: 前年度繰越金	1,166.37	1: 教師謝金	1,428.76
2: 会費	1,477.12	2: 教室借用費	418.30
3: JICA助成金 (教師謝金)	784.31	3: 教材購入費	581.33
4: JICA助成金 (教材費)	653.60	4: 器具備品購入費	553.30
5: 寄付金	326.80	5: 運営事務費	79.75
6: バザー売上金	159.54	6: 保険(生徒傷害保険)	163.40
		7: その他雑費	135.95
		8: 次年度への繰越金	1,206.95
合計	4,567.74	合計	4,567.74

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.53 (98年12月28日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額		3,212.42	4,183.01	3,202.61	3,333.33
支出額(実績)		1,946.26	3,329.76	3,151.67	3,360.79

4. 事業概要

(1) 事業内容

・学校運営

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校の運営 ・日本語教師謝金の支給 ・日本語教師研修会の開催 ・日系研修員の募集、選考 ・新年会、ピクニック等の年中行事を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系移住者の供給がないため、年々生徒が減少する傾向にある。 ・日本語教師の待遇改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系三世、四世、地域居住者にも呼びかける。 ・若手教師の人材育成を勉強会を通して行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・片親が日系人の子供達、または地域居住者にも広く呼びかける。 ・若手教師の人材育成

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	南アルバータ新移住者からの寄付、諸行事への参加

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	南アルバータ日本語教師会					
	(欧文) Southern Alberta Japanese Language Teachers Association					
設立目的	日系移住者子女の日本語教育の充実と発展のため 日本語教師の質的向上と、より高度な教授法体得のため					
設立年月日	1995年 6月 日	法人格取得年月日		年 月 日		
代表者	職名	会長		任期	97年11月～ 年 月	
	氏名(和文)	吉積 妙子				
	// (欧文)	Taeko Yoshizumi				
役員構成	会長 1名、副会長 1名、会計 1名					
本部所在地	211 Arbour Wood Close N.W., Calgary, Alberta, T3G 4C3, Canada					
連絡先	郵便物宛先	211 Arbour Wood Close N.W., Calgary, Alberta, T3G 4C3, Canada				
	電話番号	403-239-5998	(団体・個人宅 [吉積])			
	FAX番号	403-239-0766	(団体・個人宅 [吉積])			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅 [])				
会員数	個人会員	世帯 35名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)
	法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名:				
会員資格等	会員資格	・日本語教師及び、日本語教育に興味、関心のある者 ・ ・				
	会費	年間 10米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.50)				
	会員の特典	合同研修会及び、勉強会に出席可				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語のみ					
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人身体制
カルガリー日本語教師会	研修会・勉強会	35

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 6月 1日～98年 5月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度繰越金	152.20	消耗品費	6.67
会費収入	240.00	会議費	837.04
JICA助成金	2,000.00	通信費	9.45
雑収入	65.12	講師招聘費	868.53
		印刷製本費	139.96
		雑費及びレスブリッジ用	366.67
		次期繰越金	229.00
合計	2,457.32	合計	2,457.32

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.50 (99年 1月20日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1992	1993	1994	1995	1996
予算額				2,273.35	2,439.45
支出額 (実績)				2,096.62	2,287.25

4. 事業概要

(1) 事業内容

・合同研修会及び、地区毎の勉強会

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師研修会の開催 勉強会 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教育の充実と発展。 講師を遠方より招聘すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 他地域の教師会と合同で講師を招聘すること。（例えば日本から） 	<ul style="list-style-type: none"> 予算が許せば研修会の回数を増やしたい。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	なし
地方自治体との関係	なし
地域住民・民間団体との関係	なし

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	BC州日本語教育振興会			
	(欧文) B.C. Japanese Language Teachers Association			
設立目的	1 : 日本語教育の振興を計る。 2 : 日本語教師の向上を計る。 3 : 日本語教材の開発に努める。			
設立年月日	1974年 4月 日	法人格取得年月日	1989年10月 (BC州政府) 1991年10月 (カナダ政府)	
代表者	職名	会長	任期	年 月～ 年 月
	氏名 (和文)	江川 元明		
	// (欧文)	Motoaki Egawa		
役員構成	会長 1名、副会長 1名、書記 1名、議長 1名、会計 1名、副会計 1名、企画執行 1名 ニュースレター 1名			
本部所在地	475 Alexander St., Vancouver, B.C., V6A 1C6, Canada			
連絡先	郵便物宛先	3690 Nanaimo, St., Vancouver, BC, V5N 4R5, Canada		
	電話番号	604-433-4773	(団体・個人宅 [江川])	
	FAX番号	604-451-0887	(団体・個人宅 [江川])	
	E-mailアドレス	(団体・個人宅 [])		
会員数	個人会員	世帯 127名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %
	個人会員構成	一世	二世	三世
		127人(97.6%)	__人(__%)	__人(__%)
法人、団体会員	__法人(団体) 主な法人(団体)名:			
会員資格等	会員資格	・日本語教師 ・日本語教師志望者 ・日本語教育に興味のある者		
	会費	年間 8米ドル相当額 (換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.50)		
	会員の特典	・日本語教材図書の貸し出し ・日本語教師研修会の参加 ・勉強会の参加 ・日本語教育事情の情報取得		
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語 (日本語のみ、現地語のみ、両方等)			
	日本語のみ (必要に応じ英語を使用)			
	・団体が発行している各種資料 (パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)			
定期出版物	タイトル	ジャルタ・ニュース		
	発行部数	140		
	言語	日本語		
	価格 (有料の場合)	無料		

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
		総務部	
	企画執行部		
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
日本語教科書作成委員会	日本語教科書の作成（1年から7年まで完成）	8
日本語教師研修会委員会	毎年研修会を開催（15回）日本語教師育成のため	5
日本語能力検定試験委員会	カナダで日本語を学ぶ生徒のための能力試験の作成と実施（過去9回）	12
勉強会委員会	日本語教師育成を目的に毎月実施。	6
メンバーシップ	会員の管理（名簿・会費）	2
ニュースレター委員会	ニュースレターの作成	3
図書管理	振興会所有の日本語教育図書の管理、貸出し	2

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997～98年度収支計算書 (97年 9月 1日～98年 8月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	12,322.27	基本会計	
基本会計		GMプリント	1,000.00
会費	313.33	日検へ	971.05
JICA助成金	5,000.00	教室使用謝礼	133.33
日検から	790.00	コピー・郵送代	605.69
利子	23.75	マイクスタンド	50.52
教科書		ペーパーホルダー	151.99
教科書売り上げ	542.23	寄付ICAS	66.67
利子	0.51	銀行手数料	6.40
研修会		教科書	
受講費	500.00	コピー代	2.67
利子	18.75	郵送料	36.00
		銀行手数料	0.67
		研修会	
		会場費	270.00
		講師謝礼	600.00
		講師宿泊費	237.33
		講師接待費	66.30
		広告費	201.25
		コピー・郵送費	76.00
		交通費パーキング代	389.35
		機具	50.43
		茶菓子	27.73
		銀行手数料	4.00
		次期繰越金	14,563.47
合計	19,510.84	合計	19,510.84

換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.50 (年 月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1994-1995	1995-1996	1996-1997		
予算額					
支出額(実績)	23,067.09	18,218.61	21,553.90		

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育の振興 ・日本語教師の育成 ・日本語教材の開発

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師研修会の開催 ・日本語教材開発 ・日本語能力検定試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催のための資金作り（助成金） ・研修後の若手教師の職場作り ・参加教師のボランティアによる活動になるので参加者に負担がかかりすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> ・JICA等政府機関への働きかけ（助成金確保） ・各日本語学校での若手教師の採用を奨励する ・参加者を増やすことにより負担を減らす 	<ul style="list-style-type: none"> ・量から質の日本語教育を目指し、学習者の需要をほりおこす ・各日本語学校間の情報の交換を活発にする ・広く一般に日本語教育のアピールをはかる

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

なし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	・非営利事業団体としてカナダ政府に働きかける。具体的には、研修会、教材作成の為の助成金の申請。
地方自治体との関係	・BC州政府への助成金の働きかけ。 ・BC州政府教育省との情報収集（特に日本語教育に関して）。
地域住民・民間団体との関係	・他協会との関係・協力

(3) JICAへの要望・期待

<p>今日まで当地区でBC州日本語教育振興会として活動してこれたのは、JICAからの助成（シニア日本語専門家派遣、研修会助成金、教育機器助成、日本語教師研修等）があったからである。これからも多くの日系人移住者子女の日本語教育振興の上には貴事業団の助成が必要である。今後も今までと同じように、特に日本語教育の上における予算の削減が実施されないよう要請する。</p>

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	トロント移住者協会					
	(欧文) New Japanese Canadian Association					
設立目的	戦後移住者の相互援助と親睦を図り、カナダ日系社会に貢献し、ひいてはより良きカナダ市民の構成員として社会の発展に協力する。					
設立年月日	1976年 月 日		法人格取得年月日	1984年 月 日		
代表者	職名	会長		任期	94年 3月～ 年 月	
	氏名(和文)	長石 芳尚				
	// (欧文)	Yoshihisa Nagaishi				
役員構成	会長 1名、副会長 2名、書記長 1名、会計 1名、会計監査 1名、相談役 2名、理事 15名					
本部所在地	C/O J.C.C.C., P.O.BOX 191, 123 Wynford Drive, Don Mills, Ontario, M3C 2S2, Canada					
連絡先	郵便物宛先	C/O Tacmy R&D Ltd., 300 Esna Park, Dr#22, Markham, Ontario, L3R 1H3, Canada				
	電話番号	905-475-7173	(団体・個人宅[])			
	FAX番号	905-475-0082	(団体・個人宅[])			
	E-mailアドレス	bicyoshi@aol	(団体・個人宅[])			
会員数	個人会員	350 世帯 800 名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)
法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名:					
会員資格等	会員資格	・原則として新移住者(帰化二世も含む)であって規定の年間会費を納入した者を会員とする。				
	会費	年間 7 米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨)				
	会員の特典	年4回のニュースレター、その他特になし				
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語					
定期出版物	タイトル	ニュースレター				
	発行部数	800				
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
	事務局		
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等） 加盟団体

団体組織機構名	業務概要	人員体制
日本文化の会	トロント日系文化会館の施設を借用して広くトロント周辺の諸学校生徒、教師を主なる対象として、日本文化全般を紹介、年間参加者約1万5千人。	8
トロント国語教室	左記3校はいずれも毎週土曜日に運営されている。主に新移住者子弟を対象として、継承語としての日本語教育を行っている。運営はJICAからの助成金、	25
日加学園	最小限の授業料、募金活動で賄われている。	25
日修学院		20
NJCゴルフクラブ	移住者協会会員を中心とし広くトロント日系社会間の友好をゴルフで達成。	50
ハーモニーインター ナショナルクラブ	主に日本人以外を夫とする日本女性移住者の相互支援に始まり、日系社会に奉仕。	60
無線クラブ	ハムを趣味とする同好会で、協会のイベントにボランティア支援。	12
インターネット情報交換 会	2年前に発足。その名の通り、毎月の例会では、トピックスにより新知識の交換学習。	150

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
トロント日系文化会館 (借用)	この建物は第2次大戦後、強制集団移動収容を経験した日系一世及び二世の人々が心の拠点として築いたもので、我々トロント移住者協会はその発足当初からそのボードの好意によりこの施設を連絡会合の場合には無料で、特別イベントの場合は低料金で、利用してきた。初期には種々の摩擦があったことも事実であるが、相互努力により今では歩み寄りを見て、現在、我が協会が推進力となって、トロント日系社会に全体が日本語と日本文化復活に向けて努力している。

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1998 年度収支計算書 (98年 1月 1日～ 98年 12月 31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
アーチザン	1,363.00	アーチザン材料費他	269.00
協会会員費	1,178.00	加盟団体活動援助金	971.00
寄付	1,205.00	役員交通費	350.00
銀行利子	1,096.00	日本語教育プロジェクト	646.00
日本語教育プロジェクト 研修会、教材補助	0.00	研修会、教材補助	
日本語学校3校/教師謝礼 補助金・教材費補助	0.00	日本語学校3校/教師謝礼 補助金・教材費補助	825.00
AJC活動補助金 (日本国総領事館)	12,298.00	AJC活動援助金	12,298.00
BBQパーティ参加費	1,040.00	BBQパーティ (材料、飲物、会場費)	1,410.00
機関誌広告売上げ	924.00	総会費	626.00
		交際費及び慶弔費	306.00
		事務費及び一般管理費	3,705.00
		機関誌及び一般郵送費	1,423.00
		シャパニーズファミリー サービス会費及び寄付	194.00
		銀行手数料	70.00
合計	19,104.00	合計	23,093.00

換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.545 (98年 12月 31日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1994	1995	1996	1997	1998
予算額	16,554.00	22,385.00	27,660.00	26,150.00	19,014.00
支出額(実績)	14,022.00	12,363.00	17,960.00	24,810.00	23,093.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育、日本語及び日本文化の復活、強化と維持に努力する。 ・日系諸団体との交流を図り相互理解を得る。
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育（JICA支援及びボランティアにより活動維持）

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師研修会の開催 ・日本語教材の増強 ・汎米日本語教師合同研修会派遣教師選考 ・日本語学校本邦派遣研修生選考 ・トロント日系社会の日本語、文化復興の努力 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校生徒数が減少の一途をたどり、学校経営は勿論、複式学級の増加による授業内容の質の維持が困難になりつつある。 ・戦前移住者の三世、四世の日本語、日本文化への理解欠如。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新移住者の中にも日本語及び日本文化の継承に関心の薄い家庭があると考えられるため、その重要性を啓蒙し続けること。 ・戦前移住者子弟へも日本語、日本文化の重要性を働きかけること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次大戦が原因で大きくは2つに割れたトロント日系社会を、再び日本語、日本文化を介して相互理解が得られるものに復活すること。

2) 分野名：地域交流・親睦（募金活動及びイベントにより活動維持）

<ul style="list-style-type: none"> ・BBQパーティ開催 ・紅白歌合戦共催 ・バラエティーショー開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・協会役員の親睦に始まったBBQパーティは、今では大きくその輪を広げて年々参加者は増大するも協会のボランティアに参加する人を発見するのは困難。 ・ショーは広く、地域の年輩層に好評。若者の観客を集めることは困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今のところ、日本語と日本文化という日系人共通の糸を日系社会を結びつける媒体になるという確信で活動に有機性を与え同じ輪に参加してくる人が出てくると信じている 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ日系人でありながら日本文化を基盤に持つと持たないで相互理解に支障を来している事実を相互に認め、相互に歩み寄る努力を続け、戦中日系人の受けた心の傷を軽くすること。
--	--	--	---

3) 分野名：地域貢献（日系社会、カナダ社会；個人的なボランティア精神により維持）

<ul style="list-style-type: none"> ・トロント日系文化会館のボードへの参加 ・トロント日系社会の各団体代表者で構成するネットワーク委員会へ参加することにより、カナダ社会への奉仕活動へも支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてボランティアで構成される諸活動を維持することが極めて困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・何とか現状維持を図る。
---	--	---	---

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

オーストラリア及び南米の日系団体とのニュースレターの交換を行っている。

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

JICAには長年にわたる御支援に感謝している。ただ、政策的にカナダという国自体がいわゆる先進国に属するため、そこに在住する日系人も南米日系人と異なるごとく考えられがちであるが、これはむしろ逆に考えた方が妥当ではないかと考える。日本政府が現在、将来にわたって日系人を日本国外に存在する良きパートナーと考えて、その日本語、日本文化維持に更なる努力を払っていただくことを希望し、その線でJICAに強い期待を持っている。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	日加学園					
	(欧文) Nikka Gakuen					
設立目的	日系人子弟に対する日本語教育の充実					
設立年月日	1978年 9月 1日		法人格取得年月日	年 月 日		
代表者	職名	会計理事		任期	95年 9月～ 年 月	
	氏名(和文)	村井 優人				
	// (欧文)	Masato Murai				
役員構成	理事長 1名、理事 2名、会計 1名、教務 1名					
本部所在地	C/O Dr. Norman Bethune Collegiate Institute, 200 Fundy Bay Blvd., Agincourt, ONT., M1W 3G1, Canada					
連絡先	郵便物宛先	593 Mc Roberts Ave., Toronto, Ontario, M6E 4R5, Canada				
	電話番号	416-789-1902	(団体・個人宅)	村井 〕)		
	FAX番号	416-789-1902	(団体・個人宅)	村井 〕)		
	E-mailアドレス	mmurai@zdnnetmail.com	(団体・個人宅)	村井 〕)		
会員数	個人会員	43世帯 58名		地域内日系家庭全体に対する加入率：約 ____%		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		__人(____%)	52人(100%)	__人(____%)	__人(____%)	__人(____%)
法人、団体会員	____ 法人(団体) 主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、9月入学時点で満4才であること。 ・集団生活を行なえること。 ・原則として、日本語がその家庭で話されていること。 ・原則として家庭内で日本語を指導する人がいること。 				
	会費	年間300米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.50)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語のみ					
定期出版物	タイトル	ニュースレター「おたより」				
	発行部数					
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
教師会	カリキュラム検討・作成、行事確認実施、研修	13
理事会	事務・財務、資料作成、記録、教師行事バックアップ	5

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997/98年度収支計算書 (97年 9月 1日～ 98年 8月 31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
1) 前期繰越金	9,406.00	1) 教師謝礼	23,400.00
2) 授業料・教科書	25,644.00	2) 教科書	1,210.00
3) 事業収入		3) 賃借料	2,517.00
ベークセール	2,004.00	4) 行事	
(資金調達イベント)		ベークセール	126.00
運動会弁当売上	585.00	(資金調達イベント)	
記念写真・菓子売上	1,227.00	運動会	585.00
20周年ランチ売上	103.00	文集/写真(クラス記念)	191.00
親睦会ランチ売上	813.00	20周年会場使用料・	311.00
4) その他収入		保証金その他	
ゴルフ寄付	533.00	親睦会	1,217.00
日系団体より寄付	177.00	教師会ランチ	287.00
5) JICA助成金		クリスマス発表会	104.00
日本語教師合同研修	333.00	教師研修費	333.00
日本語教師謝金	2,000.00	5) 学校備品購入費	305.00
教材等購入費	667.00	6) 印刷費	155.00
		7) 事務費	20.00
		8) 広告	307.00
		9) 切手	13.00
		10) コピー機	1,103.00
		メンテナンス料	
		1 1) 図書費	131.00
		1 2) 保険料	576.00
		1 3) その他	0.00
		1 4) 次年度繰越金	10,601.00
合計	43,492.00	合計	43,492.00

換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.50 (99年 1月 日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1992/1993	1993/1994	1994/1995	1995/1996	1996/1997
予算額	31,338.00	34,133.00	34,240.00	31,395.00	38,029.00
支出額(実績)	31,338.00	34,133.00	34,240.00	31,395.00	38,029.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日系子弟に対する日本語教育の充実 ・日系子弟に対する日本文化の充実 ・JICA助成金の適切な運用 ・日本語教育振興会（カナダ）の研修参加 ・JICAの研修参加
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校の運営 ・日本語教師謝金の支給 ・日本語教師研修会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度（'98～'99年度）生徒数が前年度に比べ30人減。 ・日系人子弟への日本語教育の再確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・履修単位コース提供可能性の模索。 ・会話指導に重点を置く。 ・生徒の父母に対する日本語教育再確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複式学級への編成がえ。 ・海外日系人子弟への日本語教育専門家による講演会実施。 ・成人学級・キャンプ実施。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	・当地教育委員会との友好関係維持。（当地高校建物・設備をレンタル）
地域住民・民間団体との関係	<ul style="list-style-type: none"> ・当地新移住者協会からのサポートあり。 ・カナダ日本語教育振興会への参加。

(3) JICAへの要望・期待

北米日系人子弟のアイデンティティを増加させる行事を含む諸活動を提供して頂きたい。
--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	トロント日本語学校 日修学院					
	(欧文) Nisshu Gakuin Japanese Language School					
設立目的	日系人子弟に日本語と日本文化を継承してもらうため 将来日系社会を担う日系人を育成するため					
設立年月日	1986年 4月 16日		法人格取得年月日		1986年 9月 1日	
代表者	職名	理事長		任期	98年10月～99年 9月	
	氏名(和文)	イング 豊子				
	// (欧文)	Toyoko Ing				
役員構成	理事長 1名、理事 2名、事務長 1名、校長 1名					
本部所在地	c/o Bedford Park Public School, 81 Ranleigh Avenue , Toronto, Ontario, M4N 1X2, Canada					
連絡先	郵便物宛先	622 Village Parkway, Unionville, Ontario, L3R 2K9, Canada				
	電話番号	905-479-8659		(団体・個人宅) イング)]		
	FAX番号	905-479-6276		(団体・個人宅) イング)]		
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[])				
会員数	個人会員	53世帯 80名		地域内日系家庭全体に対する加入率：不明		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		__人(____%)	77人(96%)	__人(____%)	__人(____%)	3人(4%)
法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名：					
会員資格等	会員資格	・両親のいずれかが日本人であり、家庭で日本語を常用語とする子供 ・ ・				
	会費	年間 37米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.60)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語のみ					
	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
定期出版物	タイトル	日修学院ニュースレター				
	発行部数					
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
教師会	日本語教育について話し合い、より良い授業と教育を行う	16
クラス代表者会	学校で行う行事や日本語教育について話し合う	10
父母の会	日本語を学習する日系子弟を支援し、学校運営に協力する	90

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	(現地の小学校Bedford Park Public Schoolを利用)

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 9月 1日～98年 8月 30日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度銀行繰越金	6,777.82	教科書仕入れ	1,301.13
運営費収入	24,511.80	教師謝金、職員給料	24,188.74
学校バザー収益金	421.39	教材費	2,296.16
教科書売り上げ	1,998.21	事務印刷費	1,545.26
JICA助成金		通信交通費	206.02
教師謝金	1,800.00	機材備品購入、修理費	281.42
教材等購入費	600.00	文化活動費	1,251.07
		雑費	597.00
		校舎使用代	899.02
		教師研修会費	270.00
		次年度繰越金	3,273.39
合計	36,109.22	合計	36,109.21

換算レート: US\$1=現地通貨CAD1.60 (99年 1月10日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	33,600.00	34,200.00	34,800.00	34,800.00	36,000.00
支出額(実績)	33,000.00	33,600.00	32,100.00	32,400.00	32,835.83

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校運営 ・自治活動（トロント移住者協会関連）
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校の運営 ・日本語教師研修会の開催 ・行事を通して父母の親睦を図る 学校バザー 凧上げ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習生徒数を増やしたい。 ・学校の方針を理解し、日本語教育に携わる教師の育成。 ・日本語を話す環境に子供達をおくことにより、より多くの日本語にふれる機会を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日系社会での行事に参加し、学校の存在を幅広く知ってもらおう。 ・熟練教師と新人教師でチームを作り、細かく連絡を取り合いながら新人教師をサポートする。 ・父母の協力を得て、より多くの父母、生徒、教師が参加できる行事の計画と実行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語維持の大切さを機会ある毎に話す。 ・現在ボランティアとして学校を手伝っている卒業生を、将来の日本語教師として育成できる様なクラスの設置。 ・家族ぐるみで日本語教育に参加できる様な学校作り。

2) 分野名：域内親睦

<ul style="list-style-type: none"> ・日系会館や交流基金文化センター等で行われる各種行事に参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数が減少。 日系社会と日本語がかかわり合っている事を父母に知ってもらう必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 父母間の親睦が深まる様な行事の企画と呼びかけで参加者をふやす。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語を学ぶ生徒、この生徒を支援する父母、そして、生徒を指導する教師の間の連帯意識を深めていく。
--	---	---	--

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・学校校舎を許可を得て借りている為、教室の使用にかなり制限がある。 ・現在借りている小学校が近い将来閉鎖される可能性もでてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒を常に指導し、教室の使用で問題が無い様、学校全体で注意を払う。 	<ul style="list-style-type: none"> 借りている小学校の校長と学校関係者と連絡を取り合い、又、学校のあるコミュニティーとの連帯意識を高めることによって学校を存続させる。

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

JICA主催の日本語教師合同研修会（冬期）

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	サレー日本語学校					
	(欧文) Surrey Japanese School					
設立目的	日系人子弟と共に、広くカナダ一般の子弟をも対象とする。日本語の学習を通して日本文化等の理解を深め、日加親善、並びに、国際人として貢献できる人間育成の場を目指す。					
設立年月日	1978年 9月 1日		法人格取得年月日	1986年 4月 8日		
代表者	職名	会長		任期	97年 9月～99年 8月	
	氏名(和文)	梶山 絵美				
	// (欧文)	Emi Kajiyama				
役員構成	会長1名、副会長2名、会計1名、書記1名					
本部所在地	Guildford Park Secondary School, 10707-146St., Surrey, B.C., V3R 1T5, Canada					
連絡先	郵便物宛先	5752-244 B St., Langley, B.C., V2Z 1G8, Canada				
	電話番号	604-856-8397	(団体・個人宅) 梶山)			
	FAX番号	604-856-6982	(団体・個人宅) 木村)			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅))				
会員数	個人会員	53世帯 91名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ____%		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		1人(1%)	65人(72%)	4人(4%)	____人(____%)	21人(23%)
法人、団体会員	____法人(団体) 主な法人(団体)名:					
会員資格等	会員資格	・日系人の子弟及び、広く日本語を学びたい就学児童は誰でも入学できる。 ・地域内のみだけでなく、本人の家族の希望でアメリカから、又は片道1時間半の生徒も受け入れている。				
	会費	年間 224米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.56)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語、英語両方					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語、英語両方					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構(部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 9月 1日~98年 8月 31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
前期繰越金	5,407.32	学校管理費	866.19
助成金	640.00	施設賃借・維持費	2,698.01
寄付	148.19	備品購入費	20.06
会費・授業料	21,541.12	教師給与	16,448.00
ファンドレイズ(資金集め)	2,256.07	謝礼金	297.27
銀行利子・その他	745.96	職員教育費	240.51
		教具・教材費	1,194.85
		消耗品購入費	94.55
		特別行事費	522.99
		雑費	992.19
		次期繰越金	7,364.04
合計	30,738.66	合計	30,738.66

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.56 (98年12月30日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	28,455.00	33,648.00	30,650.00	28,386.00	26,239.00
支出額(実績)	22,958.00	27,410.00	30,439.00	26,218.00	23,374.00

4. 事業概要

(1) 事業内容

・日本語学校の運営

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
学校運営	借用施設での授業、諸経費上昇等により、年間行事等の経費を縮小せざるをえない。	・ファンドレイズによる資金集め（バザー、空びん回収、学校を通しての食品一括購入等） ・今年度に限り、月謝以外に会員費徴収	より多くのファンドレイズ

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
・教室数、教員数、生徒数の関係で、レベルの異なるクラスを合併、若しくはレベルは同じでも年齢の差がある生徒を同じクラスに入れなければならない。 ・借用施設の為、教材を毎回運びこまねばならない。	・非日系人コースの年齢（6才～14才）に応じて、ワークシートを2～3通り作る。 ・4、5年生（8名）、10、11、12年生（15名）は同じワークシートでもレベルに応じて指導。 ・毎週2クラス分の教材、用具を運びこむ。	・経済的に余裕があれば、教室数を増やしたい。 ・教師が自由に教材を閲覧、使用できる部屋を借りたい。

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	B.C.州政府継承語プログラムより援助金取得
地域住民・民間団体との関係	教師は、B.C.州日本語振興会、及び、B.C.州継承語協会（British Columbia Heritage Language Association）に参加し、研修、又、他（日本語）学校とのつながりも大切にする

(3) JICAへの要望・期待

日本語シニア専門家を、過去3回に渡って派遣し、現地の教師を指導して下さったことを有難く思っている。これからも、助成金は勿論のこと、教師の研修会、講師派遣、教材の寄付等、継続されるようお願いしたい。

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	カルガリー日本語学校					
	(欧文) Calgary Japanese Language School					
設立目的	①日系および現地の子供達や大人に日本語と日本文化を教える ②カナダにおける日本語と日本文化に対する理解を深める					
設立年月日	1975年 9月 日		法人格取得年月日		年 月 日	
代表者	職名	校長		任期	98年 9月～ 年 月	
	氏名(和文)	バルバ 藤子				
	// (欧文)	Fujiko Vrba				
役員構成	理事長 1名、理事 4名、相談役 2名、校長 1名、副校長 2名					
本部所在地	67 Ranchridge Cr., N.W., Calgary, Alta., T3G 1T7, Canada					
連絡先	郵便物宛先	67 Ranchridge Cr., N.W., Calgary, Alta., T3G 1T7, Canada				
	電話番号	403-239-7300	(団体・個人宅) バルバ]]			
	FAX番号	403-239-7300	(団体・個人宅) バルバ]]			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅[]]				
会員数	個人会員	世帯 92名		地域内日系家庭全体に対する加入率: 約 ___ %		
	個人会員構成	一世	二世	三世	四世以降	非日系人
		人(___ %)	人(___ %)	人(___ %)	人(___ %)	人(___ %)
法人、団体会員	___ 法人(団体) 主な法人(団体)名: _____					
会員資格等	会員資格	・7才以上だれでも入学可 ・授業料年間180カナダドル(117米ドル)を収めた者				
	会費	年間117米ドル相当額(換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.54)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	英語					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	英語					
定期出版物	タイトル					
	発行部数					
	言語					
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および附属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
附属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	なし		

(2) 団体組織機構（部局、部会、委員会等）

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	(現地の中学校を利用。毎週金曜日 7:00pm~9:00pm)

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997/1998年度収支計算書 (97年 9月 1日~98年 8月31日)

(US\$)

歳入の部		歳出の部	
授業料	12,038.00	教師謝金	9,594.00
JICA助成金	2,600.00	教室使用料	1,185.60
雑収入 (バザー等)	383.00	会議、研修	650.00
		備品	650.00
		卒業式 (記念品、他)	325.00
		ウィンターフェスティバル	130.00
		カルガリー日系協会へ	234.00
		コピー	780.00
		教材費	581.75
		教材費 (JICA分)	650.00
		次期繰越金	240.65
合計	15,021.00	合計	15,021.00

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.54 (99年 1月10日現在)

(2) 過去5年の財政状況

(US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額	13,822.18	14,624.12	14,871.43	15,300.00	15,021.00
支出額 (実績)	14,205.91	12,077.83	13,543.69	15,004.60	14,780.35

4. 事業概要

(1) 事業内容

<ul style="list-style-type: none"> ・日本語授業 ・伝統行事紹介 ・正月行事（ウィンターフェスティバル）
--

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語授業

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・日本語授業 ・運営資金 ・教師謝金 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の不足 ・教師の確保 ・現地政府からの援助打ち切り ・教室使用料の上昇 ・ボランティアの不足 ・生徒の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加 ・バザー等による資金確保 ・現地日系人会との協力を得て、円滑な運営を図る ・新聞その他のメディアを利用しての生徒募集 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日昼間のクラスを週1日持ちたい ・生徒を定期的に日本へ送る（交換留学等の形で） ・教師によるクラス内容のバラつきを無くす ・本校専用の教科書の作成

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
特になし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	かつて中央・地方両政府からの資金援助を受けていたが、財政引き締めのため、両政府共援助打ち切りを決定、その後何度かの申請するも今日まで受理されず
地方自治体との関係	
地域住民・民間団体との関係	

(3) JICAへの要望・期待

--

海外日系団体活動状況調査票

1. 基本情報

団体名称	南アルバータ新移住者協会日本語学校					
	(欧文) SANJIA Japanese Language School					
設立目的	・移住者子弟の日本語教育 ・日本語教育を通して日系人相互の理解を深めると共に、国際感覚ある子弟を育てる					
設立年月日	1978年 7月 日	法人格取得年月日	1981年 4月 7日			
代表者	職名	校長	任期	95年 4月～ 年 月		
	氏名(和文)	西 重芳				
	// (欧文)	Shigeyoshi Nishi				
役員構成	移住者協会：会長 1名、副会長 2名、書記 1名、会計 2名、編集 1名、監査 2名 日本語学校：校長 1名、教員 3名、会計及び連絡員 2名					
本部所在地	Sonny Nakashima (新移住者協会会長) P.O. Box 25, Burdett, Alberta, T0K 0J0, Canada					
連絡先	郵便物宛先	P.O. Box 180, Vauxhall Alberta, T0K 2K0, Canada				
	電話番号	403-654-2784	(団体・個人宅 [西])			
	FAX番号	403-654-2784	(団体・個人宅 [西])			
	E-mailアドレス	(団体・個人宅 [])				
会員数	個人会員	_____世帯 _____名 地域内日系家庭全体に対する加入率：約 _____%				
	個人会員構成 (生徒構成)	一世 _____人(____%)	二世 13人(42%)	三世 1人(3%)	四世以降 7人(23%)	非日系人 10人(32%)
	法人、団体会員	_____法人(団体) 主な法人(団体)名：				
会員資格等	会員資格	・ ・ ・ ・				
	会費(授業料)	年間 65米ドル相当額(換算レート：US\$1=現地通貨 CAD1.55)				
	会員の特典					
使用言語	・総会、役員会等の集会時の使用言語(日本語のみ、現地語のみ、両方等)					
	日本語					
定期出版物	・団体が発行している各種資料(パンフレット、機関誌、総会資料、事務書類等)					
	日本語					
定期出版物	タイトル	(新移住者協会発行)しのっくだより				
	発行部数	120				
	言語	日本語				
	価格(有料の場合)					

2. 事業実施体制

(1) 本部および付属機関

本部 (事務局)	部門名	専従正規 職員数	その他 職員数
付属 機関	機関名	専従正規 職員数	その他 職員数
	日本語学校		3

(2) 団体組織機構 (部局、部会、委員会等)

団体組織機構名	業務概要	人員体制
なし		

(3) 所有施設と利用状況

施設名	利用状況
なし	(個人宅を教室として借用)

3. 財政状況

(1) 直近年度の財政状況

1997年度収支計算書 (97年 4月 1日~98年 3月31日) (US\$)

歳入の部		歳出の部	
前年度繰越金	723.97	教師謝金	1,219.35
授業料	770.97	事務費	120.55
JICA助成金(教師謝金)	793.55	教材購入費	373.00
JICA助成金(教材費)	645.16	印刷製本費	301.97
移住者協会補助金	322.58	器材備品購入費	217.46
ファンドレイズ	480.22	教室借用費	335.48
寄付金	6.45	教師研修費	77.42
雑収入	4.84	諸行事費	126.47
		銀行手数料	9.86
		次年度繰越金	966.18
合計	3,747.74	合計	3,747.74

換算レート: US\$1=現地通貨 CAD1.55 (98年12月10日現在)

(2) 過去5年の財政状況 (US\$)

年度	1993	1994	1995	1996	1997
予算額			1,935.48	2,793.55	2,967.74
支出額(実績)	2,089.67	2,548.09	2,749.13	2,955.47	2,781.59

4. 事業概要

(1) 事業内容

・日本語教育

(2) 重点分野への取組（重要度が高い順に記載）

1) 分野名：日本語教育

現在の活動状況	課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
学校運営 教師謝金の支給 教師研修会 生徒・教師合同学習会 教師勉強会 資金作り	移住者の子弟の減少。公募して日系人以外の生徒を集めるのは簡単だがそれを教える教師が少ない。労力に対して最低賃金にも満たない謝金しか払えず、そのため後に続く教師がいない。広域に生徒が散在。公共の交通機関もなく生徒父兄は農業従事者が多いため送り迎えが容易ではない。小規模、小家族で経済面の充実も難しい。この地方では日本語のメリットが見えない	教師に過剰な負担にならない程度で日系人以外の生徒の受け入れ。資金作りも定期的に実施。現職員の教育能力の向上。移住者協会より補助金増額の要請。学校間の交流。高校生の第二外国単位の修得。	アルバータ州日本語コースカリキュラムに添った日本語教育。公・私立高校内に日本語コースの増設。高校、大学との連係あるカリキュラムの作成。日本語試験の単一化。

(3) その他の重要課題

課題・問題点	現状での具体的な取組	将来の方針・目標
なし		

5. その他

(1) 他国の日系団体との交流とその方法

特になし

(2) 今日における中央政府、地方自治体等との関係

中央政府との関係	特になし
地方自治体との関係	特になし
地域住民・民間団体との関係	特になし

(3) JICAへの要望・期待

レスブリッジ地区及び近辺には、日系人が三千人とも六千人ともいわれている。全体的な組織がなくその存在が埋もれてしまって把握が難しいのが現状である。これだけの日系人がいながら日系会館の一つもない。特に二世三世は戦争の後遺症を持ちつづけ、医師、弁護士、大学教授など多数の日系人が立派な地位につきながら、目立たず、騒がず、日系人どうしの組織化を嫌っている。同好会や協会の組織はある。こんな中で戦後移住者が協会を組織し、文化、演芸、日本語学校等の活動をしている。全日系人の2～3%が新移住者で将来は皆が自由に使える建物を持つことを目標にしている。生活の為まだまだ働かねばならない新移住者が、日本文化の紹介・継承のため日本語学校を続けながら、目標に向かうにはあまりにも微力である。せめてJICAの日本語学校へのご援助の継続をお願いしたい。



JICA